



2016年12月

居住者の皆様へ

Asahi Monthly Report

【ごみ処理について】

ごみを減らす工夫の一例

このたびは、ごみを出さない工夫をとことん追求した結果、2年間で手のひらサイズ（453g）だけのごみに抑えたという、究極のエコライフを実現したアメリカの女性が実践した事柄をご紹介します。

- ① 買い物の際、あとでゴミが出ないかを逆算して検証する。
- ② プラスチック製のタグはすべてレジでカットしてもらい、自宅へと持ち込まない。食品包装はもちろん、できるだけ食べられない部分がない食材を選ぶようにする。生ゴミは堆肥として再利用する。
- ③ 買い物には必ずエコバッグを持参する。コーヒースタンドにはマグカップを持っていくなど紙コップがゴミとして出ないように心がけた。テイクアウトは容器が出るので徹底して自炊を心掛けた。
- ④ 作れるものは徹底的にDIY。自分で作れるものがあれば徹底的に作ってみる。DIYでまかなえるものは、購入しない。歯磨き粉から洗剤、デオドラント用品と、すべて自身でまかした。



上記と同様の生活を実践することは大変難しいことかと思えます。普通の生活では、ごみは必ず増えるものですので、彼女のマネをしないまでも、少なくともごみを分別するルールやごみ処理の決り事を守ること、環境に配慮した生活を送る意識を持ちたいものです。

※ DIY： Do It Yourself の略語 自分でやる